

[022] 九州大学東洋史論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/25761>

出版情報：九州大学東洋史論集. 22, 1994-01-25. 九州大学文学部東洋史研究会
バージョン：
権利関係：

九州大学
東洋史論集

22

論説

- 清代乾隆年間における官僚と塩商（二）
——両淮塩引案を中心として——……………滝野正三郎（1）
- 明清時代、森林資源政策の推移
——中国における環境認識の変遷——……………宮 寄 洋 一（19）
- 宋元明代における児童算数教育……………本 田 精 一（37）
- 「清・日本・琉球冊封関係の形成をめぐって」……………川 勝 守（73）

彙報

1994年1月

九州大学文学部東洋史研究会